

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	11	文化財保護審議会に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	138千円	146千円	222千円	0千円
総人件費	1,899千円	1,857千円	1,857千円	
総事業コスト	2,037千円	2,003千円	2,079千円	

事務事業名	01	文化財保護審議会事業	指標名	会議の実施回数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	上下半期の各1回、会議を開催する。
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		
戦略プラン			実績	2回	2回	-						
総合戦略			H27年度				H28年度				その他の指標	-
個別計画			改善目標	-				改善目標	年3回の会議開催。			
根拠法令等		文化財保護法 つくば市文化財保護審議会条例	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 上半期は7月に会議を開催し、前年度事業報告と本年度事業計画説明を行う。 下半期は12月に会議を開催し、毎年実施する小田城跡発掘調査視察及び年度途中報告を行う。 必要に応じて会議を開催し、諮問答申や各種文化財保護について議論する。 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 現任期(平成26年7月1日～同28年6月30日)終了に伴う、新委員の選任をする。 上半期は7月に会議を開催し、前年度事業報告と本年度事業計画説明を行う。 上半期は12月に会議を開催し、毎年実施する小田城跡発掘調査視察及び年度途中報告を行う。 必要に応じて会議を開催し、諮問答申や各種文化財保護について議論する。 			
事業分類		B 任意的事業(小規模)	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 上半期は7月13日(月)に開催し、悉皆調査、小田城跡管理活用、文化財修復、指定候補物件その他について議論した。 下半期は12月21日(月)に開催し、小田城跡発掘調査を視察。さらにその復元整備後の特に管理方法、市指定天然記念物枯死による指定解除、天然記念物保存その他について議論した。 				上半期活動実績	-			
執行体制		職員のみ	成果	<ul style="list-style-type: none"> 諮問・答申は市指定天然記念物枯死による指定解除手続を行った。 その他、主要事業である小田城跡復元整備工事の整備や管理、指定文化財の修理、巨樹等の自然文化財調査その他について、保存・活用に関する深い議論ができた。 				上半期成果	-			
事業の目的		教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要な事項について調査し、教育委員会に建議するため。	課題	保存・活用といった保護に関する意見をいただきながら、人手不足で実行に移せない部分がある。				課題	-			
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 任期2年の委員10名による会議を、年2、3回開催し、各種文化財の現地調査も実施する。 文化財保護行政において、広範な知識を持つ外部有識者により、適切で公平な判断を行う。 	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	-
ISO 14001	環境	関連性	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している				有効性	-			
			効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
			総合評価	A: 成果を維持して継続実施				総合評価	-			
			評価	理由				H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	13	文化財維持管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	17,984千円	16,125千円	4,431千円	0千円
総人件費	6,186千円	6,052千円	4,937千円	
総事業コスト	24,170千円	22,177千円	9,368千円	

事務事業名	01 市管理文化財維持管理事業				指標名	管理文化財件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	市の直接に草刈り・修繕等の維持管理をする文化財の件数			
	戦略プラン	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	H31年度	H32年度
総合戦略																			
個別計画																			
根拠法令等	文化財保護法, 茨城県文化財保護条例, つくば市文化財保護条例				事業計画	市内に所在する, 国4件・県29件・市84件の指定文化財, 3件の国登録文化財及び620ヶ所の周知の遺跡(埋蔵文化財)の適切な維持管理。 市有・管理物件の土地賃借, 草刈り, 修繕。 指定文化財等への説明板設置。 文化財保護団体への参加。				事業計画	市内に所在する, 国4件・県29件・市83件(1件指定解除)の指定文化財, 3件の国登録文化財及び620ヶ所の周知の遺跡(埋蔵文化財)の適切な維持管理。 市有・管理物件の土地賃借, 草刈り。 指定文化財等への説明板設置。 文化財保護団体への参加。 その他必要な業務。				その他の指標	-			
事業分類	A 任意的事業				活動実績	日向廃寺跡の借地, 小田城跡・八幡塚古墳・日向廃寺跡等で草刈りを実施。 無し。 全国・茨城県の保護団体活動で, 陳情・総会等に参加。				上半期活動実績	-				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
執行体制	一部委託				成果	指定等文化財の維持管理が適切にできた。 無し。 特に史跡の活用について意見交換や知見を得ることができた。				上半期成果	-				事業費(A)	15,085千円	14,866千円	3,838千円	0千円
事業の概要	文化庁, 茨城県及び市文化財保護審議会, 文化財保護指導員その他の専門家の指導を仰ぎながら, 対象文化財を適切に維持・管理・整備等を行う。また, 市指定史跡保存のための民有地の賃借や, 史跡整備に関する団体に加盟し情報収集や意見交換を行う。				課題	史跡土地購入に伴い管理する土地が増加しており, 維持管理費の検討が必要である。				課題	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001 環境性	-	-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	人件費(B)	3,093千円	3,026千円	3,026千円			
					評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.40人		
						効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-		時間外勤務	20.00時間	20.00時間	20.00時間			
						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		臨時職員等	無	無	無			
													事業コスト(A+B)	18,178千円	17,892千円	6,864千円			
													H29年度当初積算根拠	-					
													H29年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	13	文化財維持管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	17,984千円	16,125千円	4,431千円	0千円
総人件費	6,186千円	6,052千円	4,937千円	
総事業コスト	24,170千円	22,177千円	9,368千円	

事務事業名	02 文化財保護指導員事業	指標名	-				指標種別				
戦略プラン		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	-
総合戦略		実績	-	-	-					その他の指標	-
個別計画		改善目標	H27年度				H28年度				
根拠法令等	つくば市文化財保護指導員設置規則	事業計画	1名が出土文化財管理センターにて、文化財の調査・資料整備・連絡調整等に従事する。				市管理文化財維持管理事業(の上欄)と統一させる(市内の文化財に精通する必要があるため市内在住者が望ましいが、自然科学系と異なり人文科学系の歴史・文化財の専門的知識を有する方を見いだすことができないので、適任者を探すことを続けるが、事業展開が難しいため)。				
事業分類	A 任意的事業	活動実績	10年以上従事していた専門家が平成26年度末に退任した後の後任者が見つからず、活動せず。				上半期活動実績				
執行体制	職員のみ	成果	無し。				上半期成果				
事業の目的	文化財の保護・活用を図るため。	課題	後任適任者の選任。				課題				
事業の概要	文化財の調査・資料整備・連絡調整等、文化財の保護・活用に関するを行う。	事業の進捗状況	未達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	
ISO 14001 環境関連性	-	評価	有効性	低：成果が低下(低水準を維持)している			有効性	-			
			効率性	低：費用対効果が低下(低水準を維持)している			効率性	-			
			総合評価	E：事業の抜本的な見直し(縮小・廃止)の必要有り			総合評価	-			
		事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初				
		事業費(A)		1,950千円	0千円	0千円	0千円				
		国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円				
		県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円				
		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円				
		その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円				
		一般財源		1,950千円	0千円	0千円	0千円				
		人件費(B)		1,139千円	1,115千円	0千円					
		正職員		従事割合	0.15人	0.15人	0.00人				
		時間外勤務		0.00時間	0.00時間	0.00時間					
		臨時職員等		有	無	無					
		事業コスト(A+B)		3,089千円	1,115千円	0千円					
		H29年度当初積算根拠		-							
		H29年度の方向性		-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	17,984千円	16,125千円	4,431千円	0千円
総人件費	6,186千円	6,052千円	4,937千円	
総事業コスト	24,170千円	22,177千円	9,368千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	13	文化財維持管理に要する経費

事務事業名	03 民有文化財補助事業	指標名	補助件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	指定文化財の維持活動費への補助					
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン		実績	6	6	6	6	6	6	6								
総合戦略			4	6	-												
個別計画			H27年度				H28年度				その他の指標	-					
根拠法令等	文化財保護法, 茨城県文化財保護条例, つくば市文化財保護条例	改善目標	-				-				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初		
事業分類	A 任意的事業	事業計画	市指定無形民俗文化財の活動補助。国県市指定・登録文化財のき損等が発生した場合の修理費他の補助。				市指定無形民俗文化財の活動補助。国県市指定・登録文化財のき損等が発生した場合の修理費他の補助。				事業費(A)	949千円	1,259千円	593千円	0千円		
執行体制	職員のみ	活動実績	6件に補助。国指定建造物の屋根修繕等				上半期活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	市内に所在する国・県・市指定や国登録文化財を次世代に良好な状態で継承するための各種経費のうち、必要に応じた経費を補助することで、当該文化財を保護するため。	成果	国民共有財産とされる指定等文化財の所有・管理者負担を軽減しながら文化財の保存が可能となった。				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	指定・登録文化財の管理・修理について、所定の手続を行いながら、その経費の一部を予算の範囲内で補助する。	課題	数百万円を越える修繕事業への対応。				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
ISO 14001 環境関連性	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				一般財源	949千円	1,259千円	593千円	0千円
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-				人件費(B)	1,954千円	1,911千円	1,911千円	
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				正職員	従事割合	0.25人	0.25人	0.25人
										時間外勤務	20.00時間	20.00時間	20.00時間				
										臨時職員等	無	無	無				
										事業コスト(A+B)	2,903千円	3,170千円	2,504千円				
										H29年度当初積算根拠	-						
										H29年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	3,249千円	3,437千円	3,910千円	0千円
総人件費	1,954千円	1,911千円	1,911千円	
総事業コスト	5,203千円	5,348千円	5,821千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	14	市史編纂に要する経費

事務事業名	01 市史編纂事業				指標名	図書の刊行数。				指標種別	活動結果指標				指標の概要				
					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン					目標値	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊					整理・解読の終了した史・資料について、冊子として刊行する。			
実績					1冊	1冊	-												
総合戦略					H27年度				H28年度				その他の指標	-					
個別計画					改善目標	-				改善目標	史料集等は販売しており、その売上高を前年度比で5%上昇させる。								
根拠法令等					事業計画	1 県内でも古文書読解の第一人者により、江戸時代後期の谷田部地区に関する文書を読解する、 2 年度末に史料集を1冊刊行する。 3 未発見史・資料の調査し記録する。 4 市関連史・資料を入手する。				事業計画	1 県内でも古文書読解の第一人者により、古文書を読解する、 2 年度末に史料集を1冊刊行する。 3 未発見史・資料の調査し記録する。 4 市関連史・資料を入手する。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業分類	A 任意的事業				活動実績	1 江戸時代後期の谷田部地区に関する文書を読解した。 2 1の成果をもとに、市史料集第十二編 - 谷田部藩(中) - を刊行した。 3 市内民有古文書の読解を行った。 4 近世文書類6点を購入した。				上半期活動実績	-				事業費(A)	3,249千円	3,437千円	3,910千円	0千円
執行体制	職員のみ				成果	江戸時代後期の谷田部地区に関する文書を読解し、年度末に史料集を1冊刊行した。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	歴史資料を体系的・分類的に調査・整理・記録して郷土の歴史を正しく後世へ伝えるため。				課題	統一した通史の市史を持たない本市だが、現状では組織的・本格的な編纂事業を組むのが厳しい状況にあり、現在は史・資料散逸を防ぐための収集・調査・史料集を刊行するという状況が続いており、何れ通史の市史を準備する必要がある。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	1. 保有史・資料の整理及び解読作業：江戸時代の近世文書を中心に行う。 2 史・資料集の刊行：整理・解読の終了した史・資料について、史・資料集を刊行する。 3 未発見史・資料の調査及び記録：記録は写真やデジタルデータ化も行う。 4 市関連史・資料の入手：古書店等からの購入も含む。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001 環境関連性	-				評価	有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している			評価	有効性	-			その他特財	154千円	123千円	220千円	0千円
						効率性	高：費用対効果が向上(高水準を維持)している				効率性	-			一般財源	3,095千円	3,314千円	3,690千円	0千円
						総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施				総合評価	-			人件費(B)	1,954千円	1,911千円	1,911千円	
															正職員	従事割合	0.25人	0.25人	0.25人
															時間外勤務	20.00時間	20.00時間	20.00時間	
															臨時職員等	有	有	有	
															事業コスト(A+B)	5,203千円	5,348千円	5,821千円	
															H29年度当初積算根拠	-			
															H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	調査係・活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	15	小田城跡に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	180,088千円	226,808千円	64,555千円	0千円
総人件費	10,579千円	10,357千円	10,357千円	
総事業コスト	190,667千円	237,165千円	74,912千円	

事務事業名	01 小田城跡保存・活用事業		指標名	復元整備工事の進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	復元整備工事全体に占める累計の工事進捗率。	
	戦略プラン	3	12	文化財保護の推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
			実績	80%	98%	-						
総合戦略			H27年度				H28年度				その他の指標	-
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画		改善目標	-				改善目標	-			
根拠法令等	文化財保護法		事業計画	土地買収は、本丸北側出入口正面の宅地(1,450㎡)と移転補償及びそれに伴う鑑定・測量を行う。 復元整備は、本丸北西部の部残りの土木工事、北西部土塁内手洗所建築工事、案内所外構工事、案内所展示工事とそれぞれの施工監理を行う。また案内所の環境整備(機会警備及び備品購入)を行う。				事業計画	土地買収は、史跡西橋の宅地(約450㎡)と移転補償及びそれに伴う鑑定・測量を行う。 復元整備事業終了に伴う「小田城跡歴史ひろば」を開園し(4月29日に開園行事開催)、維持管理活用を図る。また案内標識を整備する。			
事業分類	A 任意的事業		活動実績	土地買収は、年内に予定計画どおり実施した。 復元整備は、年内に土塁内手洗所建築工事と案内所外構工事が、年度末までに土木工事・展示工事と環境整備が完了した。ただし、国庫補助の減額により史跡に至る案内標識整備が行えなかった。				上半期活動実績	-			
執行体制	一部委託		成果	土地買収では、本丸北側出入口正面という極めて重要な場所を公有化できた。 復元整備は、平成7年度の基本構想以来、土地買収・確認調査を経て約20年の歳月をかけ完成に至ることができた。				上半期成果	-			
事業の目的	中世常陸の一大中心地だった、国指定史跡「小田城跡」を土地買収により保存し、歴史公園として活用できるよう復元整備するため。		課題	公有地の草刈り等の管理と復元整備した「小田城跡歴史ひろば」の活用。				課題	-			
事業の概要	土地買収は、文化庁長官に現状変更を許可されない土地等で実施し、19年度までに史跡南半の市街化調整区域約11haがほぼ終了し、現在は北半の市街化区域で概ね毎年1筆を買収する。 復元整備は、平成21～27年度に、史跡(約22ha)中心の本丸跡を主とする遺構整備ゾーン(約4.2ha)で実施し、合わせて展示機能を持つ案内所を建設する。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	
ISO 14001 環境関連性	-	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している			評価	有効性	-		
	-	-		効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している				効率性	-		
	-	-		総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施				総合評価	-		
事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)		172,284千円	222,300千円	57,949千円	0千円	
国庫支出金		88,492千円	115,817千円	32,361千円	0千円	内訳						
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	地方債		59,200千円	63,800千円	0千円	0千円	
その他特財		0千円	0千円	8,600千円	0千円	一般財源		24,592千円	42,683千円	16,988千円	0千円	
人件費(B)		4,991千円	4,888千円	4,888千円		正職員		従事割合	0.55人	0.55人	0.55人	
臨時職員等		無	無	無		時間外勤務		300.00時間	300.00時間	300.00時間		
事業コスト(A+B)		177,275千円	227,188千円	62,837千円		H29年度当初積算根拠		-				
H29年度当初積算根拠		-				H29年度の方向性		-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	15,205千円	16,618千円	36,857千円	0千円
総人件費	5,072千円	4,963千円	4,963千円	
総事業コスト	20,277千円	21,581千円	41,820千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	16	文化財展示施設管理に要する経費

事務事業名	01 文化財展示施設管理事業	指標名	収蔵資料利用件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	収蔵資料の閲覧・写真撮影複写・掲載及び貸出等の利用件数																																													
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																																																
戦略プラン			30件	30件	30件	30件	30件	30件	30件																																																
実績			30件	32件	-																																																				
総合戦略			H27年度				H28年度				その他の指標	-																																													
改善目標			-				老朽化が進む施設・設備の突発的な破損や劣化に対し、発生してから3か月以内に対応する。																																																		
個別計画																																																									
事業計画			収蔵資料及び施設を適切かつ良好な状態に保つ。				収蔵資料及び施設を適切かつ良好な状態に保つとともに、有効に活用して教育、研究に資する。																																																		
根拠法令等	つくば市文化財展示施設条例及び同条例施行規則																																																								
事業分類	F 施設等維持管理事業																																																								
執行体制	一部委託																																																								
事業の目的	市内から出土した文化財、史料及び民俗資料を中心とした資料の収集・整理並びに復元整備した史跡の保存と展示を行い、つくば市文化財展示施設等(桜歴史民俗資料館、出土文化財管理センター、平沢官衙遺跡歴史ひろば、谷田部郷土資料館)の収蔵資料や施設の維持管理するため。																																																								
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料を適切に管理し、貸出等の利用手続きを申請に応じて適宜行う。 ・施設の維持管理のため諸法令に定められた業務、植栽や設備の維持管理、機械警備、収蔵資料の燻蒸処理等の業務を専門業者に委託して実施し、施設を常に適切かつ良好な状態に保つ。 桜歴史民俗資料館には、桜窓口センターが含まれる。																																																								
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料の貸出・閲覧等の利用、資料の写真掲載等の利用が32件あった。 ・老朽化が進む施設のうち、平沢官衙遺跡歴史ひろばの外水道及び雨樋、桜歴史民俗資料館のトイレ改修、出土文化財管理センターの扉の修繕、収蔵庫照明機器の取換え等を行った。 																																																								
成果	収蔵資料及び施設を適切かつ良好な状態に保つとともに、資料貸出業務を通じて市外の方々に、つくば市の歴史と文化への知識と理解を深め、合わせて学術の発展に資することができた。																																																								
課題	老朽化が進む施設・設備の修繕を、市の公共施設マネジメントと連動させながら計画的に実施する必要がある。																																																								
事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-																																																						
評価	有効性	中:適切な成果が得られている																																																							
	効率性	中:適切な費用対効果が得られている																																																							
	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施																																																							
ISO 14001 関連性																																																									
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	15,205千円	16,618千円	36,857千円	0千円	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財	59千円	55千円	48千円	0千円	一般財源	15,146千円	16,563千円	36,809千円	0千円	人件費(B)	5,072千円	4,963千円	4,963千円	正職員	従事割合	0.65人	0.65人	0.65人	時間外勤務	50.00時間	50.00時間	50.00時間	臨時職員等	有	有	有	事業コスト(A+B)	20,277千円	21,581千円	41,820千円	H29年度当初積算根拠	

H29年度当初積算根拠	理由
H29年度当初積算根拠	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	調査係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	17	金田官衙遺跡に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	119,641千円	123,739千円	195,906千円	0千円
総人件費	1,655千円	1,620千円	1,620千円	
総事業コスト	121,296千円	125,359千円	197,526千円	

事務事業名	01 金田官衙遺跡保存・活用事業		指標名	累計土地買収面積				指標種別	成果指標	指標の概要			
	戦略プラン	3	12	文化財保護の推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		H31年度	H32年度	
					2.0ha	2.4ha	3.05ha	3.7ha	4.35ha	6.0ha	6.65ha	買収対象面積約7.1haに対する当該年度までの累計面積。	
					2.0ha	2.4ha	-						その他の指標
総合戦略					H27年度				H28年度				
個別計画													
根拠法令等													
事業分類													
執行体制													
事業の目的													
事業の概要													
ISO 14001 環境性													

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	119,641千円	123,739千円	195,906千円	0千円
国庫支出金	95,606千円	98,991千円	156,723千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	29,380千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	24,035千円	24,748千円	9,803千円	0千円
人件費(B)	1,655千円	1,620千円	1,620千円	
正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人
正職員	時間外勤務	50.00時間	50.00時間	50.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	121,296千円	125,359千円	197,526千円	

H29年度当初積算根拠				
H29年度の方向性		理由		

